

# あおもり短角牛再生緊急対策プロジェクト



## 現状と課題

◆ 東北北部地方で古くから飼育されてきた日本短角種牛は、牛肉の輸入自由化に伴い、競争力が低下し、飼育中止や黒毛和牛への転換が進み、生産農家、頭数ともに減少

(県内の飼育頭数：約660頭)

◆ 近年、安全安心を求める消費者の意識向上や健康志向の高まりに伴い、ヘルシーな赤身牛の人気が定着し、ニーズが増加

・需要を逃さないために、短期間で飼育頭数を拡大することが重要

・黒毛和牛との所得差を縮小するために生産コストの低減を図る必要

## 事業内容



### 1 繁殖雌牛の増頭対策

- (1) 日本短角種の双子生産実証  
※青森県畜産研究所が確立した黒毛和牛の一卵性双子生産技術の活用
- (2) 受精卵産子の県内流通体制づくり
- (3) 新たな担い手等への飼育技術指導

### 2 繁殖雌牛の低コスト生産支援 (国直轄事業の活用支援)

- (1) 低コスト生産のための新たな飼料資源の検討  
・新たな地域飼料資源 (ブドウ搾り粕やワイン粕、大豆サイレージなど) の調査・検討
- (2) 繁殖雌牛用TMR飼料の給与実証  
・TMR飼料の製造、舎飼期 (冬季) の低コストTMR飼料の給与実証

※TMR飼料=牧草などの粗飼料、とうもろこしなどの濃厚飼料、食品生産副産物等をバランスよく配合した牛の飼料

## 事業効果

- 日本短角種繁殖雌牛の増頭
- 肥育素牛 (子牛) の安定供給
- 生産コストの低減



東北北部特有の希少品種である日本短角種生産の再興



生産者の所得向上